

ソフトボール男子の昨季日本リーグ覇者、平林金属ク（岡山市）に、関西高硬式野球部出身の太田元貴遊撃手（18）ら有望新人4人が今月加入した。19日開幕の西日本リーグへ向けて即戦力として期待される。

太田は関西高で4番に座り、甲子園出場経験こそないが走攻守三拍子そろった遊撃手として昨夏の岡山大会4強入りに貢献した。ソフトボールは小学生時代に経験しているが「守備や走塁のスピード感が違う。練習を積み、早く慣れて期待に応えたい」と意欲的。野球からの転向にも吉村監督は「打球への1歩目が速い。長打を狙えるパンチ

力も魅力」と期待する。

他の3人も実績十分。関東学園大出の新井千浩内野手（22）は2010年のU-19日本代表で、堅実な守備とうまい打撃が魅力。明德義塾高で昨夏のインターハイ3位に貢献した岡崎雄大一塁手（18）は50秒5秒9の俊足が持ち味で、硬式野球経験者の清水亮佑外野手（19）＝鹿島学園高出＝は強肩を生かした守備力が売りだ。

「新人の中では誰にも負けない。足を生かしてチームに貢献したい」と岡崎。将来性豊かなルーキーがリーグ連覇の原動力となるはずだ。（村上達也）

男子ソフト・平林金属ク

即戦力ルーキー4人加入



1年目からの活躍を期す平林金属クの（左から）岡崎、清水、新井、太田＝HIRAKINライズ球場

2013年4月17日の山陽新聞朝刊で記事が紹介されました
（山陽新聞社より転載許可承諾済）